

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年05月28日

計画の名称	十勝港における安全で利便性の高い港湾環境の形成（防災・安全）									
計画の期間	平成28年度 ～ 令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当	
交付対象	広尾町									
計画の目標	適切な港湾利用を目的とした港湾施設の改良を行い、港湾利用の安全性と効率性の向上を図る。									
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	409	A	409	B	0	C	0	D	0
効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）										0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H29末	H32末
1	防波堤の嵩上げ改良及び港湾施設（港湾監視CCTV・防舷材・転落防止柵）の更新を行うことで、安全で効率的に利用できる 防波堤の嵩上げにより、背後の静穏水域の増加率 （整備前）防波堤からの越波により、背後水面の静穏水域が確保-0されていない面積12.6ha （整備後）防波堤からの越波が抑制され、背後水面の静穏域が確保された面積12.6ha 算定式：6.3ha÷12.6ha	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	☐	連携中枢都市圏を含む	☐	流域水循環計画を含む	☐	地域再生計画を含む	☐
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		H28	H29	H30	H31	R02													
		一体的に実施することにより期待される効果																	
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	広尾町	直接	広尾町	重要	改良	防波堤の改良	L=655m（嵩上げ）	十勝港・内港地区	■	■				195		策定済
	A02-002	港湾	北海道	広尾町	直接	広尾町	重要	改良	港湾施設の更新	港湾監視CCTV施設更新 1 式	十勝港・内港地区		■				32		未策定
	A02-003	港湾	北海道	広尾町	直接	広尾町	重要	改良	港湾施設の更新	防舷材改修 3 0 基	十勝港・内港地区		■	■	■	■	132		策定済
	A02-004	港湾	北海道	広尾町	直接	広尾町	重要	改良	港湾施設の更新	転落防止柵改修1,182m	十勝港・内港地区			■	■	■	50		策定済
											小計						409		
											合計						409		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

広尾町港湾課において実施

事後評価の実施時期

令和3年5月

公表の方法

広尾町ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

防波堤からの越波が抑制され、背後水面の静穏域が確保された。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

港湾施設の安全で効率的な利用が図られた。

○特記事項（今後の方針等）

安心・安全な港湾環境の形成を目指すことを目標に、老朽化が著しい既存港湾施設の計画的な改良を実施していく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	静穏域が確保された面積		
	最 終 目 標 値	100%	目標が達成された。
	最 終 実 績 値	100%	

参考図面（防災・安全交付金）

